

乳幼児健診

健診は日ごろの疑問や不安を解消するチャンスです。

赤ちゃんが正常に成長、発達しているかをチェックし、なんらかの問題がある場合は必要な指導や治療をすることを目的にしています。さらに、ふだん気になっていることを医師や看護師・助産師に相談できるいい機会です。なんでも遠慮なく相談してください。

健診には、母子健康手帳、健康保険証を持参してください。授乳は1時間前までに済ませておきましょう。脱ぎ着しやすいベビーウエアがおすすめです。

1. 1ヵ月健診

産院で受けることが多いですが、できるだけ小児科医の診察を受けましょう。

お乳の飲み具合、体重の増え方、心臓病など生まれつきの病気の有無などをチェックします。ビタミンKが不足すると頭蓋内出血を起こすことがあるため、ビタミンKのシロップを飲ませます。通常、出生時1回、生後1週間頃に1回、1ヵ月時1回の3回飲ませますが、それでも稀に出血を起こすことがあるため、3ヵ月になるまで毎週1回ビタミンKを飲ませる方法もあります。

また予防接種の受け方について説明します。ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチン、3種混合、ポリオ、BCGなど1歳までに5～7種類のワクチンを接種する必要があります。接種できる時期が来たらなるべく早めに接種します。生後2ヵ月からはヒブ、肺炎球菌、ロタウイルス(任意)、B型肝炎(任意)が接種できます。

母乳のほ乳状態、乳房の状態が気になるようでしたら、助産師が相談させていただきます。

2. 3～4ヵ月健診

お乳の飲み具合・体重の増加や、首のすわり、目の動きなどの発達状態、心雑音の有無、股関節の開き具合などをみます。3ヵ月では首がすわっていないことが多いので、4ヵ月になってからの受診がお勧めです。

3. 6～7ヵ月健診

寝返り、おすわりなど体の発達状態、おもちゃへの興味、人見知りなどの精神発達、離乳食が始められているかなどをみます。この頃以降は、運動発達の個人差が大きくなりますので、多少の遅れは問題になりません。

4. 9～10ヵ月健診

ハイハイ、つかまり立ち、伝い歩きなど発達状態、離乳食の進み具合などを診ます。

動きが激しくなり、転落や誤飲などの事故が増える時期です。事故対策についてもお話しします。また1歳以後の予防接種についてもお話しします。

5. 1歳健診

受診率は少ないですが、この頃は目や耳、神経の問題が発見されやすい時期ですのでなるべく受けるようにしましょう。

身体測定をします。体重は出生時の3倍、身長は1.5倍が目安です。発達ではつかまり立ちや伝い歩きの様子、言葉の出方・理解度を診ます。指先が器用になり、小さな物もつまめるようになります。

6. 1歳6ヵ月健診

このころにはほとんどの赤ちゃんが歩けるようになるので歩行の様子を診ます。

意味のある言葉も2つ3つ出るか、相手の言うことを理解できるようになる時期です。

7. 3歳健診

言葉の理解度、食事や歯磨き、トイレなどの生活習慣・集団生活での様子に問題がないかを診ます。検尿や身体測定も言葉を理解しスムーズにできるようになります。



ハピネス こども クリニック

お問い合わせは…

087-848-9178

